

2 月度理事会議事録 (2023 年 2 月 14 日 (火) 開催)

1. 会長報告 (1 月 10 日 (火) ~2 月 13 日 (月) 出席案件)
 - 1 月 10 日 (火) 日本人会・理事会 於：本館
 - 1 月 12 日 (木) OJSAT 新年の挨拶 於：本館
 - 1 月 17 日 (火) JAPAN EXPO プレス発表 (代理出席：富永理事) 於：central world
 - 1 月 22 日 (日) 日本語弁論大会 於：日本国大使館
 - 1 月 26 日 (木) JCC 新年賀詞交歓会 於：パークレーホテル
 - 1 月 30 日 (月) 令和 5 年新年懇親会 於：日本国大使公邸
 - 2 月 3 日 (金) JAPAN EXPO オープニングレセプション及び盆踊り 於：central world
 - 2 月 5 日 (日) JAPAN EXPO かるた大会 於：central world
 - 2 月 7 日 (火) 国際交流基金 「日本映画祭 2023」 オープニングセレモニー
於：サムヤーンミットタウン
 - 2 月 8 日 (水) 関電不動産/Nest Property 「シーナカリン ハウジング」
オープンハウスイベント
 - 2 月 10 日 (金) 日本人会・企画推進部会及び三役会 於：本館
 - 2 月 10 日 (金) WAOJE グローバルナイト 於：QSNCC
 - 2 月 12 日 (土) ZEN 日泰親善ゴルフコンペ 於：The Legacy Golf Club
 - 2 月 13 日 (月) Japan Thai Business Forum 歓迎夕食会

2. 一般報告 (事務局)

(1) 1 月度個人会員動向

入会者 134 名 退会者 176 名 現会員数 4,808 名 (内、準会員 30 名 会友会員 213 名)
(前年同月 4,864 名・前年同月比 98.8%)

(2) 1 月度賛助会員

〈入会 3 社〉

- ・Thai Kitahara Ltd. (梱包資材製造販売)
- ・WALC Design Co.Ltd. (ムエタイ・フィットネス・ウェブデザイン業)
- ・Campus Support Inc. (学生と企業の間立ち、就職にまつわる情報を提供)

〈退会 3 社〉

- ・Enoteca (Thailand) Co.,Ltd.
- ・Maebann Co.,Ltd.
- ・List International Realty Co.,Ltd.

現会員数 516 社 (前年同月 521 社・前年同月比 99.0%)

(3) 会員優待店

【特典期限更新】

- ・YDM NAKA GOLF ACADEMY

現在の有効店数 61 店舗

(4) 1 月度会館来訪者数

本館：延数 520 名 (実数 456 名)

別館：延数 1,582 名 (実数 547 名)

合計：延数 2,102 名（実数 1,003 名）
（前年同月 延数 1,631 名（実数 817 名）前年同月比 128.8%（122.7%））

（５）会館貸出サービス

・1～3月の法人利用を紹介した。本館・別館ともに、企業の会議利用の為にご予約をいただいている。

（６）寄付・寄贈報告

・本の寄贈
泊 彰男様、足立 詠子様、他 1 名様より、計 153 冊寄贈頂いた。

（７）1 月度会計報告

・1 月度収入は、156 万バーツ（前年同月 132 万バーツ 前年同月比 118.3%）
・1 月度支出は、169 万バーツ（前年同月 179 万バーツ 前年同月比 94.3%）
・単月収支は、-13 万バーツ（前年同月 -47 万バーツ 差額 34 万バーツ）
・累計収支は、196 万バーツ（前年同月 -159 万バーツ 差額 355 万バーツ）

（８）その他報告

・2月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

3. 共催後援名義・ロゴ使用申請（事務局）

対象事業名：スプリングスクール 2023

・開催日：2023年3月14日（火）～4月20日（木）
・主催：コミュニティ英会話
・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

対象事業名：Kyushu University Forum “KYUDAI NOW” in Bangkok

・開催日：2023年3月14日（火）
於：コンラッドバンコクホテル
・主催：九州大学アジア・オセアニア研究教育機構
・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

4. 2022 年度タイ国日本人会チャリティー基金 審議案件（チャリティー基金運営委員会）

・2022年11月14日（月）～2023年1月20日（金）まで寄付先公募し告知をした結果、13団体から申請があった。2月10日（金）第一回チャリティー基金運営委員会にて議論。寄付先を選定した。

・チャリティー基金運営委員会規定

1. 当基金の用途

タイ国の社会・経済の発展・向上に直接又は間接に貢献する活動を行う団体等への支援、タイ国内の福祉施設・教育機関・奨学金等の支援、並びにタイ国内外の災害等の被害者支援に資する団体等への支援に使用するものとする。（2017年3月改定）

第8項 運営委員会の任務（ハ）基金支出の案件の審議と決定（2014年10月改定）

・寄付申請金額が、10万バーツ未満の案件については、委員会にて審議し、支出決定した場合、理

事会にて報告する。

・寄付申請金額が、10万バーツ以上の案件については、委員会にて審議し、支出決定した場合、理事会にて提案し、理事会の承認を得るものとする。

〈理事会承認案件〉

- ・アークどこでも本読み隊 (Bookworm Foundation)
100,000バーツ (事務兼幼児教育センタープロジェクトスタッフ1名・1年分の人件費)
 - ・虹の学校 (Rainbow school Thailand)
100,000バーツ (スタッフ人件費)
 - ・Wat Arun Community Learning Center
120,000バーツ (人身取引対象の奨学金生活支援・看護学校1年間)
- 3件ともに理事会にて承認された。

〈理事会報告案件〉

- ・サンファーンサンティパープ財団 (Dream Weaving For Peace Foundation)
65,500バーツ (薬物使用によって崩壊した家庭出身の、山岳民族の子どもへの奨学金、対象17名)
- ・Lanna Kendo Club (Grace & Mercy's Partners Foundation)
29,000バーツ (チェンマイの孤児院の剣士達へ、日タイ交流剣道大会開催費の補助・遠征費)
- ・チャンタミット社 (Beular Land Service Foundation)
50,000バーツ (ハンセン病患者と家族への活動支援、対象60名)
- ・プレー盲学校 (Phrae Santi Jintana School for the Blind)
99,000バーツ (視覚障がいのある児童・生徒への奨学金、対象33名)
- ・クロントイフットボールチーム (Klongtoey Youth Football Team)
40,000バーツ (ユニフォーム購入費支援)
- ・シーカーアジア財団 (Sikkha Asia Foundation)
43,800バーツ (スラム出身の奨学生交流キャンプ活動費、学生60名+職員・ボランティア27名)
- ・ワットリアップ育英基金 (Wat Riab Foundation)
50,000バーツ (日本人納骨堂があるワットリアップ育英資金への寄附、対象者200人)

5. (承認事項) 2023年4月定期総会決議事項について～規約の改定について～ (事務局)

・定期総会の決議事項となる規約の改定案について報告した。

【5条4: 準会員】・【18条: 会費について】 賛助会費の新料金体系導入に伴う改定

【5条1: 普通会員】 現状の則した形に改定

【賛助会費新料金体系について】

・企画推進部で議論してきた賛助会員の新料金体系について、来期からの実施を予定している。その為には、規約を改定することが必要で今回の規約の改定の提案となった。

・新料金体系は、賛助会費に個人会費を含む料金体系を導入することで、企業の個人会費負担をしやすいし、入退会に伴う、入会金、会費請求の手間も軽減する。(登録会員変更・追加に伴う入会金を免除)

料金: 2,000B の賛助会員 + 300B × (登録世帯数 (10世帯単位) - 5世帯分)

【規約改定のポイント】

①会費について: 賛助会費に、個人会員の入会金・会費を含める形に改定

②普通会員について：現状、日本人の外国籍の配偶者は、ファミリー会員二人目（普通会員）として登録しており、現状にあった形に改定

③準会員について：日本国籍以外の方で、賛助会員企業の社員かつ企業負担となる入会者について、普通会員5名からの推薦および理事会承認を撤廃

【改定案（文言）】 ※下線部が追記箇所

○第18条：会費について

2. 普通会員の会費は、単身で利用の場合（以下、シングル会員）は月額200バーツとし、ファミリーで利用する場合（以下、ファミリー会員※1）は、月額300バーツとする。

準会員の会費は一人当たり100バーツ（郵送物無し）、200バーツ（郵送物有り）とする。

普通会員・準会員の会費は、賛助会費に含むことができ、その場合の会費については、賛助会費として別途定める。

5. 入会金は、シングル会員は600バーツ、ファミリー会員は800バーツ（※1）とする。（2021年4月改正）普通会員・準会員の入会金は、賛助会費に含むことができ、その場合の入会金については、賛助会費として別途定める。

○5条1：普通会員

タイ国在住の日本国籍を有する者で満18才以上の者。かつて日本国籍を有した者で婚姻 その他の理由により日本国籍を離れた者、両親のいずれかが日本国籍を有していた者、又は日本国籍の者と婚姻関係にある者。

○5条4：準会員

第5条1項に該当せざる場合で、本人が入会を希望し、日本人会普通会員5名が推挙し、理事会の承認を得た者。（2001年4月改正）但し、賛助会員に所属し、賛助会員が会費を負担する者は、普通会員5名の推薦・理事会承認は免除する。

→異議なく承認された。

6.（承認事項）10年表彰対象者について（事務局）

・会員の慶弔及びこれに類するものに関する規定

3. 会員の表彰

会員で日本人会に対し特別の貢献があり、理事会でこれを承認した場合、該当者（グループを含む）に対し表彰状を贈りこれを表彰する事がある。表彰は総会、理事会の他、随時会長が行う。

<追加項目>

日本人会は、原則として10年毎の節目に「創立記念式典」を開催する。その際、日本人会に対し貢献がある者に対し、表彰状を贈り、これを表彰する。日本人会への貢献者の選択基準（注1）については、委員会を設置し、案を作成、理事会承認を得たものとする。

（注1）日本人会への貢献—選択基準

*在任10年以上の理事

*日本人会同好会・実行委員会などに10年以上協力した者

*事務局員15年以上永年勤続者

*75歳以上又は在タイ40年以上の会員の内、何らかの貢献をした者

上記基準により、対象者は理事1名・一般会員15名・事務局職員1名 合計17名。（過去に同じ理由・カテゴリーで表彰された方を除いて推薦して頂いた）

→異議なく承認された。対象者 17 名は定期総会後の表彰式にて表彰する。

7. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

（1）婦人部（竹井理事）

・2月28日（火）に日本人会別館にて「タイ舞踊芸術と古典音楽に親しもう」を開催する。タイ王立舞踊学校の先生方によるタイ舞踊と古典音楽を鑑賞いただく。

（2）厚生部（安江理事）

・1月の出産準備教室&すくすく会は、ひよこの部屋や小児 First Aid 講習等、9 イベントを開催。未入会の方にも多く参加いただいている。

・みんなの相談室は、1月31日（火）に「本帰国前の方集まれ お茶会」を開催し、7名の方にご参加いただいた。

・メイド紹介ボランティアは7件の求職者登録、5件の紹介希望があり、1組1ヶ月のトライアル成立。

・2022年度成人の日祝賀会は、2023年2月24日（金）18時から、本館にて開催予定。（2002年4月2日～2003年4月1日生まれの方が対象）4名の新成人（男性3名、女性1名）がご参加予定。今年度も、昨年度同様に記念品贈呈式を予定している。

（3）教育部（田中理事）

2022年度第3回英検について、4級・5級は、1月21日（土）、3級以上は、22日（日）に一次試験を開催したことを報告した。二次試験は2月19日（日）に開催する。

（4）在タイ日本国大使館（新保領事部長）

・パスポートの紛失・盗難が増加している。

・オンラインでの詐欺の摘発が続いてる。大使館にも日本人の被害者から連絡がきた。皆さんも気をつけてほしい。

・3月27日（月）より証明書のオンライン申請が可能になる予定。大使館の体制を整えている。オンラインで申請されたものに関してはクレジットカードでも支払いができる。

（5）事業部（神原理事）

・2月4日（土）に懇和会新年会を本館にて開催した。新年会では、在タイ日本国大使館の新保領事部長の講演会を実施し、以下の企業・個人に賞品提供いただいた。御礼申し上げます。

【賞品提供】タイ味の素、アースケミカル、パーソネルコンサルタント、イナバ、インドラ宝石店、マイベーカーリー、日高洋行、カルビータナワット、味里レストラン、日本亭レストラン、秋吉、ハーモニーライフ、森ショップ、松澤珠江様、日高朝代様、川満富子様、小野千嘉子様、濱田文子様、神原京子様、中島貴美子様、荒井恵子様、矢崎正様

・2月18日（土）にカンチャナブリ慰霊塔法要を行う。大型バスをチャーターし、10:00より法要開始。大使館からは、新保領事部長にご参列いただける予定。

・3月21日（火）に日本人納骨堂春季法要を日本人納骨堂（ワットリアップ境内）にて行う。

・内堀堂守の1月の活動を報告。納骨堂堂守としての納骨式、祈願、法要を実施頂いた。その他、ソクラー学園托鉢式、Mahachulalongkornrajavidyalaya University 論文発表会にて小論文を発表するなど活動した。

・日本人納骨堂堂守・内堀師が2月22日（水）から3月19日（日）まで一時帰国をする旨、報告

した。

・村上市務局長の高野山出張について報告した。3月16日（金）高野山国際局との打合せを予定。次期堂守派遣についての諸問題について意見交換をする。また、納骨堂釈迦如来像の修復についても情報共有するようにしている。

・日本人納骨堂・釈迦如来像の調査結果と修復費用見積について報告した。修復作業については、2023年11月頃を予定している。

【調査結果（調査報告書より抜粋）】造形的・構造技術的な特徴や、像内銘記中に「欣譽猷栖作之」とあることを総合すると、本像は銘記にある「元禄3年（1690）」に造像されたものと考えられる。同銘記中の「欣譽猷栖」「心譽浄安」「南川原林」についてはいま明らかではないが、近世仏教彫刻史を辿る上で極めて貴重な存在であると言える。また、天保12年（1841）に修理を行った「浅子周啓」は、次の事績が確認されている仏師であり、今回見つかった修理銘記は彼の活動をより詳しく紐解く上でやはり貴重なものである。

【修復費用見積】総額2,047,695円。修復費用は納骨堂カンチャナブリ基金より支出する。

（6）食堂運営委員会（石井理事）

・食堂売上1月は、872,465Bであった。会計件数1,456件、1日あたりの平均売上31,159B（売上があった28日間の売上金額を平均）、会計あたりの平均売上599B（1456件の会計の売上金額を平均）、タイ人顧客は2,470名、邦人顧客は396名、総顧客数2,866名、会員利用者延べ人数は79名、実数37名であった。2022年の売り上げは合計623,445Bとなった。

・商品売上金額の順位は、1位ちらしスペシャル、2位バラちらし、3位幕の内セットA。商品個数の順位は、1位ちらしスペシャル、2位バラちらし、3位サーモンちらしであった。

（7）バンコク日本人学校（谷口校長）

・先週チャム臨海学校に行ってきた。今年度宿泊伴う行事3つ全て実施できた。

（8）JICA（鈴木所長）

・2月10日（金）に協力隊員がシーカーアジア財団を視察。今後年に2～3回は協力隊員とともにシーカーアジア財団へ伺おうかと思う。

（9）青少年部（事務局）

・1月の活動及び2月の活動予定について報告した。

（10）会報・広報部（事務局）

・無料情報誌については、ダコ、ニコラボ、ワム、パノーラの4誌に掲載する広告を紹介した。ニコラボとダコはウェブ広告のみとなっている。

・1月のホームページアクセス状況は、訪問数6,934、閲覧数17,556で、LINE配信した日の閲覧数が高くなった。前年同月比は、訪問数42.6%、閲覧数50.3%、前月比は、訪問数146.0%、閲覧数146.1%であった。タイからの訪問数は70.4%、日本からは26.5%。前月と比較し、タイからは38.2%減少、日本からは61.6%増加している。日本からの閲覧は、東京、大阪、北海道、神奈川、愛知の順に訪問があった。

・LINEは8回の配信、登録者は前月より49名増加し、6,768名（有効者数4,045名）

・Facebookは26回の投稿、登録者は前月より14名増の3,180名。

・Instagramは20回の投稿、登録者は前月より24名増加し、1,471名。

・Twitterは10回投稿し、フォロワーは前月より18名増加の1,196名となっている。

(11) 企画推進部（事務局）

- ・1月13日（金）に日本人会別館にて「はじめての英検」講座を開催し、18名の方にご参加いただいた。講師はコミュニティ英会話の枝雄二氏。本講座は2023年度も引き続き英検一次試験前に開催する。
- ・1月26日（木）に国際交流基金主催の日本映画祭2023（日本人会後援）にあわせた映画上映会を別館にて開催した。日本人ファミリー向けに「ママをやめてもいいですか!？」というドキュメンタリー映画を上映し、14名の方にご参加いただいた。
- ・2月3日（金）に盆踊り、2月4日（土）にLDH JAPAN 共催ダンスチャレンジを JAPAN EXPO THAILAND 2023 内にてそれぞれ開催する為、各メディアにプレスリリース配信した。
- ・2月3日（金）に JAPAN EXPO THAILAND 2023 内（セントラルワールド屋外 SORA ステージ）にて盆踊りを開催した。開催にあたっては、以下の企業・団体様よりご協力をいただいた。

【会場提供・運営協力】 G-Yu Creative Co., Ltd.

【舞台出演協力】 Japan Airlines Co., Ltd、Japanese Dancing Mai、Thai-Nichi Yosakoi Team、Yosakoi Bangkok Yoisho、太鼓チーム雅、日本人会 民舞・日舞・よさこい同好会

- ・2月4日（土）に JAPAN EXPO THAILAND 2023 内（セントラルワールド屋内 TAIYO ステージ）にて、子ども達によるダンス（LDH JAPAN 共催ダンスチャレンジ）を披露した。11月2日（水）～2月1日（水）の期間にて、LDH 所属の BALLISTIK BOYZ・PSYCHIC FEVER の EXILE TRIBE 2 グループによる小学生を対象としたダンスレッスンを各グループ4回ずつ行い、その練習の成果を BALLISTIK BOYZ・PSYCHIC FEVER とともに JAPAN EXPO THAILAND 2023 内にて披露した。
- ・2月16日（木）・23日（木）に日本人会別館にて JSS Star Platinum Co., Ltd. と共催で大人向けフィットネス&ダンスクラスを開催する。
- ・2月23日（木）～3月30日（木）までの期間でオンラインにてタイ語基礎クラスを開講する。講座委託は JTCA Co., Ltd.。また、今回のビジネス編講座も、HRI(Thailand)Co., Ltd. の江草嘉和氏による特別セミナー（タイ人職員との働き方）付きで行う。日常会話編は従来の4回コースに加え、6回コースも新設。

(12) 事務局報告（事務局）

- ・バンコク日本人学校の生徒達による「総合的な学習の時間」の制作物を1月25日（水）～2月25日（土）の期間で日本人会別館にて掲示している。こちらはバンコク日本人学校・小学4年生ご担当の柴田純輔先生からのご依頼となり、「総合的な学習の時間」の取り組みで、バンコクでの身近な生活での困り事を解決するために何かできることがないかを考え、困り事を解決するアイデアとして、学びで気付いたことをバンコクに住む人々にも伝えたいという意見が出てきたとのこと。リーフレットやごみ箱のモデルなどの制作物を掲示しているので、色々な方に見ていただきたい。
- ・2月3日（金）より、別館入り口前に新しい自動販売機を設置している。Vending Plus 社というタイローカルベンダーの自販機となり、3か月毎の契約更新で、毎月800パーツの電気代を先方が負担。電子決済も可能で、早速ご来館者様が利用されている。

8. 1月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

9. 理事会出席者（敬称略、順不同）

島田会長、荻原、田中、福田各副会長、太田、小田原、米増、神原、吉田、安江、岩本、土田、竹井、

堀尾、金子、石井各理事、宮口、井原各監事、新保在タイ日本国大使館領事部長、谷ロバンコク日本人学校校長、鈴木 JICA（国際協力機構）所長、石川 JETRO（日本貿易振興機構）代表、海津報道代表、事務局（村上・安達・松田）